

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372800215
事業所名	グループホーム みどり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 特別養護老人ホームをはじめ、ホームを含む複合施設が一体となって認知症カフェを開催している。地域へは回覧板等で案内しているが参加者は少なく、利用者・家族の参加が主体となっている。 今年の「RUN伴」はホーム周辺がコースとなり、複合施設が中継地点となった。認知症カフェの開催日と重なるため、多くの来場者を予定している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 隔月、年間6回の運営推進会議が開催されている。行政代表としての地域包括支援センター職員や地域代表としての民生委員児童委員は、特段の事情がない限り皆勤で、会議で有効な意見を出して活発な意見交換を行っている。 家族の出席が多く、全員(9家族)が参加することもある。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議に毎回地域包括支援センター職員の参加があり、市・担当課への情報のパイプ役となっている。「介護者教室」や「認知症カフェ」の開催に関し、市内の3ヶ所の地域包括支援センターと連携して取り組んでいる。 介護相談員の受け入れがあり、事後に文書で相談員の“感想”が届く。それをホーム運営に活かすように努めている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 運営推進会議に多くの家族が参加することから、会議の前後に“個別懇談”を実施し、家族の意見や要望を聞き取っている。「外食の機会を増やしてほしい」等の要望は直ぐに実行に移された。 秋の運営推進会議(9月開催)の後の「ふれあい昼食会」が恒例となり、利用者、家族、職員が歓談している。今年は民生委員や包括職員も参加した。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	